

「再生可能エネ」セミナー

18日に日本技術士会中国本部

(公社)日本技術士会中

国本部(近藤英樹本部長)

は11月18日午後1時から、広島市中区加古町の広島市文化交流会館で、非会員も対象としたCPD付与の『地域産学官と技術士との合同セミナー』再生可能エネルギーで活力ある低炭素社会の実現に向けて』を開催する。参加費は無料。

セミナーでは、NPO法人環境エネルギー政策

研究所研究員の古屋将太氏が「未来のエネルギー社会づくりに向けて」をテーマに基調講演する。

また、広島大学大学院工学研究科バイオマスプロセスエレクトロ研究センター長教授の松村幸彦氏が「エネルギー資源としてのバイオマス利用への期待と課題」、長州産業(株)産業用太陽光発電・省エネルギー事業統括チーフの木村俊之氏が「太陽光発電の現状と課題」、(株)ユーラスエナジージャパン島根事業所所長の長谷川浩司氏が「風力発電の現状と課題」、イームル工業(株)顧問の沖武宏氏が「小水力発電の現状と課題」、高知県梶原町環境推進課参事の増田尚一氏が「環境モデル都市への取り組み 自然と共生するまちづくり」を演題にそれぞれ事例発表する。

時間は午後1時から5時20分まで。セミナー参加費は無料だが、午後5時半から開催される懇親会には6000円が必要となる。申し込みは14日まで同中国本部事務局(電話082-5111-0305)で受け付けるが、定員(セミナー200人、懇親会90人)になり次第締め切る。